

にしのぐちごりんとうば  
西野口五輪塔婆

野口原 別府市美術館  
県指定有形文化財（建造物）  
昭和 49 年 3 月 19 日指定

別府市美術館に、笠塔婆と並んで立っている。  
旧所在地は国東市安岐町糸永。 空風輪を一石で、火水  
地輪を一石で刻出する五輪塔の地輪部に高さ 110cm の方  
柱を継ぎ足した形の五輪塔婆で、総高 179cm。五輪塔の  
水輪部は 4 面を円板状に削った形で、通常の五輪塔とは異  
なる。各輪には五輪塔四方門（東・発心門、南・修行門、  
西・菩提門、北・涅槃門）の種子を薬研彫りにする。下部  
方柱には次のように種子と刻銘がある。東面「バク（釈  
迦）・アン（普賢）・カンマン（不動）」南面「バン（大日）」西面「キリーク（阿弥陀）・サ（観  
音）・サク（勢至）南無阿弥陀佛」北面「マン（文殊）正安元年〈1299〉九月八日」南面バンの  
下に文字があるが判読不能。このような形式の塔婆は、県内では珍しい。



（小泊 立矢）